

施設長挨拶

—コロナ禍の中で—

昨年の春以来コロナ禍に悩まされ、早や 2 年近くが経過しますが、“はなこみち”でも未だコロナウイルスに脅かされる毎日が続いています。

9 月までは、緊急事態宣言下、近隣地域のコロナ感染状況を注視しながら、子どもたちの外出や家族交流にも厳しい制限を掛けざるを得ない状況でした。

また、施設の行事なども、緊急事態宣言が解除されるまでは、規模を縮小したり、中止したり等、自粛せざるを得ない状況が続いていました。

ただ、10 月から緊急事態宣言が解除され、感染者数も減少傾向にあります。

“はなこみち”でも、これを機に 10 月からは家族交流についての自粛を緩和し、登山、ハイキング、ミカン狩りなどの秋の行事も実施する方向で調整しています。

コロナ禍ではありますが、吸収力旺盛な子どもたちにとって、直接体験、特に自然体験活動を行うことは、自分で考え自分で行動するという意味での「生きる力」を育む上で、とても大切なことです。

“はなこみち”では、職員一同が子どもたちの安全を確保しつつ、少しでも子どもたちが楽しく潤いのある生活を送れようと、色々なアイデアを振り絞り、コロナとの知恵比べを行っている毎日です。

施設長 大澤 栄次

はなこみち祭り

8 月 19 日(木)に、はなこみち祭りを行いました。今年度も昨年度に続き、新型コロナウイルス感染防止のため規模を縮小し、施設内の児童と職員のみでの開催となりました。外出を制限せざるを得ない状況のなか、退屈していた子どもたちもいたので、少しでも夏休みの思い出が作れるよう係の職員が中心となって企画や事前の準備に力を注いでくれました。

お祭り当日、幼児さんから高校生まで多くの参加者で賑わいました。子どもたちは食べ物やゲームなどの 8 つの出店を順番に巡りながら、遊んだりおしゃべりをしたりして楽しんでいました。コロナ禍により、この時期の風物詩である地域のお祭りも中止が続いていましたが、こじんまりとしたお祭りながら夏の雰囲気味わうことができたようです。

来年はコロナ禍が終息し、地域の方や子どもたちの友人も招待して、盛大に開催できることを祈るばかりです。



児童の権利擁護研修

はなこみちでは、施設内での職員向けの研修として、児童の権利擁護に関する研修を定期的に行っています。児童の権利は、日本が批准している「子どもの権利条約」にも定められており、私たち児童養護施設の職員も日頃から遵守しなければならないものです。

その1つとして、10月5日（火）に埼玉県内で活動されている団体「CAP くれよん」様に来園していただき、職員研修を実施しました。参加型のワークショップ形式で行われ、職員同士で日々子どもたちとの関わりを振り返りながら、自分事として児童の権利への理解を深めることができました。今後、子どもたち向けの活動（CAPプログラム）も予定されており、児童の権利の意味について子どもたちと職員が一緒になって考えていけたらと思います。



大切な3つの権利（CAPプログラムより）

安心

自信

自由

児童向けタブレットの活用開始



はなこみちの児童用タブレット

今年度から、学校の長期休校や夏休み等の長期休暇の際の学習に役立つため、児童向けのタブレットが導入されました。これは、令和2年度埼玉県児童養護施設等生活環境改善事業費補助金（新型コロナに関するもの）によって支給されたものです。小中学生は学校から別のタブレットも支給されていますが、支給されていない高校生も施設内でオンラインの授業や保護者面談ができるようになり、大変便利になりました。最近、学習アプリ等を活用して進んで勉強に取り組む姿もちらほらと見えてきました。利用にあたって使用ルールの見直しをするなど、職員も児童が安心・安全・快適に活用できるよう支援しています。



秋を感じる食事・行事

豊穡の秋を迎え、はなこみちでも季節を感じるイベントが行われています。9月には十五夜があり、食育の一環として各ユニットのリビングに団子とススキをお供えとして飾りました。また、旬の食材として柿や栗ご飯などのメニューを厨房の職員が提供してくれています。秋の味覚を感じながら、おいしくいただきました。

10月には、ハロウィンパーティー。現在、子どもたちは決められた予算内で、自分で考えた仮装の準備を進めています。ハロウィン当日、どんな仮装でやって来るのでしょうか。楽しみにしています。



職員インタビュー

もろこし 指導員 岩月 友里恵

① どんな子ども時代を過ごしていたか

弟や幼馴染と一緒に外でたくさん遊んでいた記憶があります。知らない道を探検したり、秘密基地を作ったり…。意外とアクティブに遊んでいました。

② 休日の過ごし方

目的を決めずにドライブしてみたり、お買い物に出掛けたりすることが好きです。

③ ユニットで思い出に残った出来事

思い出がたくさんありすぎて1つには絞れないけれど、子どもたちが日々成長していることを実感するたびに毎回嬉しくてとても記憶に残ります。

④ 子どもたちに伝えたいメッセージ

自分が一生懸命になれることを探してみよう！スポーツでもお絵描きでも、生き物のお世話でもなんでもいいです。きっとみんなそれぞれの長所がもっともっと磨かれてかっこいい、素敵な人になれると思います！

ぼてと 保育士 武笠 竜馬

① どんな子ども時代を過ごしていたか

幼稚園入園から空手道を習い始め、外遊びなども活発にしており、身体を動かして遊ぶことが好きでした。また、勉強は嫌いでしたが、読書が好きだったので国語は得意でした。

② 休日の過ごし方

家でまったりと過ごしています。時折登山やサイクリング、ドライブなどを夫婦でしています。

③ ユニットで思い出に残った出来事

日々様々な思い出が蓄積されていく中で、これと言った一つのエピソードというわけではなく、施設全体で児童が日々成長していく様子を嬉しく思っています。

④ 子どもたちに伝えたいメッセージ

児童一人一人、職員一人一人に考えや思いなど様々あるかと思います。時にはその考えがぶつかり合ってバチバチと火花を散らすこともあれば、優しい気持ちで相手に寄り添って行動し合えることもあるかと思います。そうした一つ一つが思い出として積み重なり、いつか思い返した時に良い思い出だったと言えるように日々を大事に過ごしていってほしいと思います。

ユニット通信



ぶちとまと 指導員 内田 真人

あっという間に年度の折り返しを迎え、時が経つ早さを感じます。10月以降、コロナウイルスによる外出の制限も緩和され、一部の家庭交流も可能になってきました。久々に再会した家庭からは、しばらく会わないうちに子どもの成長を感じたと意見をいただくことができました。私たち職員も気づかないうちに、子どもたちはコロナ禍にありながらも日々様々な経験をし、成長しているのかなと感じました。限られた環境の中でも、おもしろいことや楽しいことを見出し、いけるように過ごしていきたいです。

かぶら 指導員 仲田 明日香

2021年も残り3ヶ月となり、服装も冬の装いへと変わってきました。子ども達は天候にも病魔にも負けず、学校に遊びにと元気に活動しています。そんな姿を見て、職員も元気を貰っているように感じます。10月は初めてのハロウィンパーティーの開催もあり、子ども達はきらきらと目を輝かせながら準備をしています。当日、思い思いの仮装に身を包んだ子ども達を見ることが今から楽しみです。限られた状況の中でも楽しみを見出し、逞しく生きる子ども達に負けず、職員も元気に子どもたちと過ごせるように、支えられるように頑張っていきたいです。

行事予定(10月・11月・12月)

10月	11月	12月
2日(土) 防災訓練	2日(火) 運営会議	1日(水) 運営会議
6日(水) 運営会議	4日(木) A棟会議	2日(木) A棟会議
7日(木) A棟会議	6日(土) 防災訓練	4日(土) 防災訓練
12日(火) 職員会議	7日(日) 登山(小4～高3)	9日(木) B棟会議
14日(木) B棟会議	9日(火) 職員会議	14日(火) 職員会議
15日(金) 三人会議	11日(木) B棟会議	16日(木) C棟会議
16日(土) ユニット調理(A棟)	13日(土) 登山(小1～小3)	23日(木) リーダー会議・給食会議
21日(木) C棟会議	16日(火) 三人会議	
24日(日) アタッチメント研修	18日(木) C棟会議	
28日(木) リーダー会議 給食会議	20日(土) ユニット調理(B棟)	
	25日(木) リーダー会議・給食会議	
	27日(土) 運動会(小学校) みかん狩り(幼児)	



避難・消火訓練

「備えあれば憂いなし」

毎月一度、火災を想定した防災の為に避難・消火訓練を各ユニット持ち回りで実施しています。

また、年に1回、施設全体で総合防災訓練を実施しています。その際には、消防士の立会いの下、消火訓練も実施しています。

職員としては、子供達にも火事の怖さ・地震の恐ろしさ等を伝えながら、緊張感を持って訓練にあたるように努めています。

実際に災害等がなく、訓練だけで済むように日々願うばかりです。



災害時避難場所を提供！

緊急時は避難所として地域に開放しています。

- ① 防災倉庫
- ② 備蓄食糧 (1,000食)
- ③ テント (3張)・寝袋 (10人分)
- ④ 地域交流センター解放
(スポーツ少年団・地域ボランティア団体等)
- ⑤ AED・チェーンソー等の機材
- ⑥ 非常用トイレキット (500回分)
- ⑦ 救命胴衣 (大人用5個・こども用5個)
- ⑧ 救命用浮き輪
- ⑨ 簡易エアマット (20人分)・簡易寝袋 (20人分)
- ⑩ バーベキューセット (8台)

ボランティアサークル花小路会員募集あなたも活動してみませんか？

児童養護施設はなこみちを支援するボランティアサークルです。遊びや学習、生活支援などを中心に実施しています。お気軽にお電話ください。(048-574-3146 担当大澤)

報恩感謝・善意の寄付

- (株) ジェイ・ストーム様 フレーベル社様
- (株) たかくら新産業様 埼玉県社会福祉協議会様
- (株) 豊昇様 埼玉県福祉部こども安全課様
- (株) チュチュアンナ様 (株) トータルデザインセンター様
- (雜飾り寄付) 行方薫様

編集後記

徐々に気温が下がっていき、風邪など病気にかかりやすい季節となってきました。早寝早起き、軽い運動も心掛けつつ、元気に過ごせるようにしていきましょう。(広報担当)

